

早綱目啓蒙

金

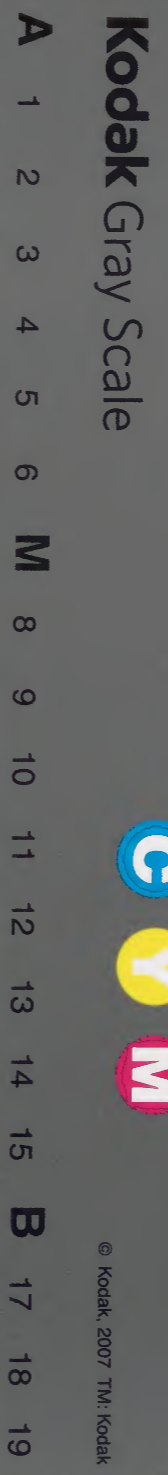
和書門	一七四六三	二一六	二七
類	號	函	冊

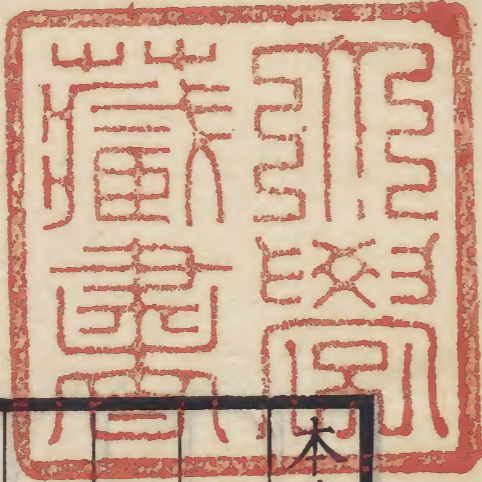
內閣文庫	一七四六三	二七	二七
和書	號	冊	冊

內閣文庫	
番號	和 17463
冊數	27 (2)
函號	264 20

早綱目啓蒙

早綱目啓蒙





本草綱目啓蒙卷之四金石部目錄

金石之一金類二十八種

金

銀附銀 烏銀

錫松脂

銀膏

硃砂銀

赤銅

自然銅

銅礦石

銅青

鉛

鉛霜

粉錫

鉛丹

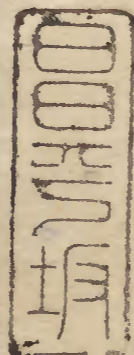
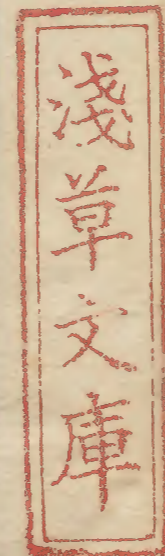
蜜陀僧

錫

古鏡

古文錢

銅弩牙



本草啓蒙 一 卷之四 五金 一 身之車弁

諸銅器 銅匙柄 銅鈕 銅秤錘

鐵 鋼鐵

鐵落 鐵精

鐵華粉 鐵鏞

鐵燕 鐵漿

諸鐵器 鐵杵 鐵秤錘 鐵鋸 鐵斧 鐵釘 鐵錘 鐵犁鏡尖

鐵甲 鐵鎖 鑰匙 鐵斧 鐵錘 鐵犁鏡尖

石之二 玉類 一十四種

玉 白玉髓

青玉 璧玉 玉英 合玉石附 青琅玕

珊瑚 馬腦

寶石 玻璃

水精 附火珠 琉璃

雲母 白石英

紫石英 菩薩石

本草啓蒙 卷之四 目錄 二 服片干藏

四十五代 聖武天皇天平二十一年三月奥州小田郡ヨリ黄金ヲ貢スルニ因リテ年號ヲ天平勝寶ト改メラル是 人王ニナリテ千四百九年ヲ經テ始テ出ルナリ今ハ佐州薩州及諸國ニ金山アリ凡ソ山ヨリ掘出スヲ山金ト云大ナル者ヲ馬蹄金ト云中ナル者ヲ橄欖金ト云帶勝金ト云小者ヲ瓜子金ト云水中ヨリ出ルヲ砂金ト云砂金ノ中至テ大ナル者ヲ狗頭金ト云小ナル者ヲ麩麥金ト云フ砂金ハ急流水ノ底ノ砂ニ雜リアルヲ撰ヒトル佐州及ヒ奥州ノ松前豫州ノ古野川等ヨリ出ル沙金ニ瓜子金 麩麥金 糠金ノ品

アリ凡ソ砂金ハ色淺シ故第二等トスト云生金ハ即チ砂金ナリ是ヲ鍛鍊スレバ熟金トナル生金ハ試金石ニ着カズ本艸彙言ニ石金トアルハ集解時珍ノ説ノ山金ナリ今佐州ニテ山ヲ深ク掘リ入り淡青黒ナル石ニ金沙雜リアルヲ採リ細ニ碎キ水ニ淘シ石末ヲ去テソノ金沙ヲ鎔化スレバ金ト石ト分レテ金ハ一處ニアツマル是レ熟金ナリ又自然ト金ノミ塊ヲナシ冰柱ノ形如キハ黄牙ト云俗名イニス唐山ニテ印子金ト云トハ別ナリコレハ唐山ノ通用金ニシテ形紙門ノ鑿鈕ノ如クス重五十錢ナルアリ百錢ナル

アリ色ハ美ナレ凡品ハ下ナリト云藥ニハ熟金
ヲ用ユ沙金黃牙等ノ生金ニハ毒アリ故ニ藥ニ入
レズ熟金ヲ用ルニハ金箔ヲ用ユベシ箔ニ品類
多シ大燒ヲ上品トス中燒ヲ次トス佛師箔青箔
ハ皆マゼモノアリ藥ニ入ルニ堪ズ佛師箔ハ
十分一銀ヲ雜ユル故ニ色淺シ青箔ハ三分一
銀ヲ和スル故ニ青色ヲ帶ブ漢渡ノ箔ハ小坊許
ニノ厚シ本邦ノ箔ハ大方ニ寸半許ニノ薄シ故唐
箔十枚ニハ和箔二十枚用ベシ

釋名 鏐 爾雅ノ註ニ鏐ハ即紫磨金ト云上品ノ
金ナリ 鈇 ハイタガ子ノ形ノ如シ 銑 ハツヤ

アル上品ノモノヲ云 天生牙俗名インス自然
ニ筭ノ狀ノ如ク長クカタマリタル金ヲ云古ハ
和州大峯山中ニ生セシト云フ

集解 金鐵屎ハカナクソ石州方言ツヨシ 桑黃

ハ桑ニ生スルサルノコシカケ 金汁ハコガ子
ノ煮汁又人糞汁ヲモ金汁ト云ユエトリヲ金汁
行ト云 顆塊金ハ自然トカタマリタル金 伴
金石ハ即紛子石ナリ 沙金ハ佐州西見川及豫
州三角寺與院ノ古野川ノ水底ニアリムシロニ
テスクヒトル大ニ人力ヲ費ノ利少シト云 試
石ハツケイシナチダロ物理小識ニ試金石ト云

フハ葉子金ハヒラガ子 辱金ハ婦人ノ器物又
 塚ノナカニアリシモノヲ云フ 還丹金ハ丹砂
 穴ヨリ出ルヲ云 母沙金未ダ詳ナラズ 鋤石
 金ハ即假鋤ナリ和俗シンチウト呼フモノナリ
 東夷青金アラミダチタル金ナリ別ニ青金ト云
 ハ鉛ナリ 林邑赤金赤山ヨリ出ル金ナリアカ
 ガ子ニアラズ
 氣味 鷓鴣 和産ナシ 餘甘子未ダ詳ナラズ果
 部出ツ 翡翠石ハ金星石ナリ石部ノ金星石ト
 ハ別ナリ

銀

シロカ子

一名白貴 事名物 白物 同上 本邦ニテ自物ト稱

白物 白鋸 行厨 丹精 同上 朱提 同上

良物 事林 白選 法名物 白衣 故事 山凝 石藥

女石 下水 同上 西北墮丹 同上 巴勞礁 東西洋考

惹多 事物 紺珠 梵語

日本紀曰 人王四十代 天武天皇白鳳三
 年三月對馬國ヨリ始テ銀ヲ出ト是レ 人王ニ
 ナリテ千三百三十四年ヲ經テ始テ出ルナリコ
 レヨリ前 顯宗天皇ノ時ニ銀錢ノ字日本紀
 ニアルハ船來ノ銀ナルベシ今ハ攝州石州ヨリ

多ク出ス其餘諸州ヨリモ出ツ銀ヲ掘ルモ金山
ト同ク山ヲ深ク掘入リシロカ子ノスジト云テ石
ニ筋アルニ傍テ掘行寸ハアヲカ子ヲ得ソノス
ジヲカナヅルト云漢名龍口廣諫ト云一名銀苗
天工開物古ヨリカナヅルヲ老翁鬚トスルハ非ナリ
老翁鬚ハ石州ノ方言銀ノトゲト云是生銀ニシ
テ銅絲ガ子ヲ束子タル形ノ如クシテ光アリコレハ
土底ニアリテ掘リ出ス稀ナリト云石中ニ銀
砂アルヲアヲカ子トス此レヲ礮ト云礮トハ
イハザルト天工開物ニ詳也綱目ニアラカ子ヲ
礮ト云フハ非ナリ

釋名 沃金鑄コトニ銀ノ一名トスルハ非ナリ詩經

沃金續ト熟スルハ銀メツキノト也孔疏ニ詳ナリ通

雅ニ説文謂沃金爲白金者非沃乃鍍金之法也鍍銀

ト云ベキニ鍍金ト云ハ金ハ五金ノ總名ナル故

通シテ云ナリ

集解 盃鉛銀未ダ詳ナラス

生銀氣味石亭脂ハウノメノイワウハ馬目毒公

ハ毒草類鬼臼一名

附録 黃銀 瑞物トモ云又瑞物ニ非ズトモ云

フ通雅ニ按高似孫引丹砂伏火化爲黃銀日華子

載雄黃銀雌黃銀丹砂雄黃殺精魅太宗賜如晦曰

本草綱目 卷之四 五 雜考 一 錫 一 錫 一 錫 一 錫
鬼畏者若非丹砂銀其雌雄黃銀乎此レヲ以テ見
レハ辰砂ヲ以テ作ル黃銀カ雌黃銀雄黃銀カ分
明ナラズト見タリ辰砂ヲ燒テ黃銀ニスルコトハ
丹砂ノ發明出ツ又自然ノ黃銀ノ說典籍便覽華
夷珍玩考ニ見ヘタリ時珍ノ說ニ世人以錳石爲
黃銀非也錳石即藥成黃銅也此錳石ハ和名ノシ
ンチウナリ唐山ノ眞錳トハ別ナリコトニ和名
ノシンチウヲ黃銀トスルハ誤ナルコト云フシ
ンチウヲチウジヤクト云ハコト錳石ノ音ナリ
色黃ナル故ニ黃銅ト云又假錳氏云フ古今秘苑
出ツ造法ハ赤銅ノ下ニ見タリ 烏銀フスベガ

子フスベシロカ子硫黃ニテ銀ヲ熏ベテ色ヲ黒
赤クスルヲ云フ

錫 恠脂 通雅ニ錫蘭脂ニ作ル

波斯國ノ銀ノアラカ子舶來ナシ今玩石家ニ錫
恠脂ト云フモノアリ雲根志ニモ圖ヲ載ス此レ
ハ別物ニシテ名ヲ假ルナリ錳ノ狀チ石英ノ如
クナリテ多ク亂レ生スルモノナリ豫州方言マ
テガラ

銀膏

錳ト水銀ト合セ製スル一集解ニ見ヘタリ舶來
ナシ

硃砂銀

此レモ製造スルモノナリ舶來ナシ鉛ト辰砂トヲ銀ニ雜ヘ造ルト云フ天工開物ニ凡虛偽方士以爐火惑人者唯硃砂銀愚人易惑其法以投鉛朱砂與白銀等分入確封固温養三七日後砂盜銀氣剪成至寶揀出其銀形存神喪塊然枯物入鉛剪時逐火輕折再經數火毫忽無存折去砂價炭資愚者貪惑猶不解ト云

集解青女水銀ノ異名

赤銅

アカバ子

一名蜀山居士異名 黃鐵法名物 丹陽石藥

銅ニ品類アリアカバ子ノミカタマリ生スルモアリ又アラカ子ヲ鍛煉シテ出スモアリ今通用ノモノ皆コレナリ又金ト混シタルモアリ銀ト混シタルモアリ天工開物ニ凡銅質有數種有全體皆銅不夾鉛銀者洪爐單煉而成有與鉛同體者其煎煉爐法傍通高低二孔鉛質先化從上孔流出銅質後化從下孔流出東夷銅又有托體銀礦内者入爐煉時銀結于面銅沈于下商船漂入中國名曰日本銅其形爲方長板條漳郡人得之有以爐再煉取出零銀然後寫成薄餅如川銅一樣貨賣者本

本草綱目卷之四 銅 赤銅

邦ニテハ 文武天皇二年因幡周防ヨリ銅鑛
ヲ貢スソノ後 元明天皇和銅元年武藏國ヨ
リ初テ和銅ヲ奉ル故ニ慶雲五年ヲ改テ和銅元
年トス今世銅ノ出處攝州多田奥州南部仙臺羽
州秋田最上越前肥前豫州日州備中濃州其外諸
州ヨリ出大抵四十ヶ國ホドナリ越前ヲ上品ト
ス 集解銅ヲ以テ造作者多シ時珍ノ説ニ白銅
出雲南青銅出南番ト此レハ自然ノモノナリ舶
來ナシ人以爐甘石煉為黃銅黃銅ハ假鍮ニシテ
和名ノシンチウナリ其法物理小識曰赤銅以爐
甘或倭鉛參和為黃銅銅十斤爐甘石六斤用和ノ
倭鉛四則紅銅六和ノ

シンチウハ銅七百錢倭鉛二百錢鉛三百錢ナリ
カクノ如ク鉛ヲ入レテ倭鉛ヲ少クスルユハ唐
シンチウヨリ色淺シ砒石煉為白銅ト云ハ造作
シロミ銅ヲ云フ和製無シ物理小識ニハ以砒霜
等藥制煉為白銅ト云フ雜錫煉為響銅ト云ハサ
ハリナリ物理小識ニ廣錫參和為響銅銅八廣
錫ニト云フ和ノサハリハ
銅一斤鉛五分之一錫十分之一ヲ以テ製ス銅ト錫ト等分ニスル鏡
トナリテサハリニテラス別ニ青銅ト云フモナリ物理小識ニ礬硝等藥制
煉為青銅此レカラカ子ナリ 本邦ニテハ銅一斤ニ鉛五分之一ヲ入
レテ製スト云フ 銅青ハナラロクセウ 石綠ハイハロクセウ即綠青
ナリ 石青ハイハロクセウ即扁青ナリ 白青ハグンセウ コ



ンゼウノ色淺キモノナリ 鐵銅ハシヤクドウノ如キモノナリ シヤ

クドウハ此紫金也拾古要論ニ出ツ又黄金モ紫金ト云同名ナリ

自然銅

一名金山力士 藥譜 金力士 事物異名 散佐里 鄉藥本草

舶來二種アリ一種ハ形方ニシテ雙陸ノ骰子ノ

如シ大サ三分許或ハ五七分許大小齊シカラズ

色ハ赤黒クシテ光リ少シ又シンチウノ如キ色

ニシテ光リ有モアリ皆質堅ク重シ和産ハ信州

武石村ノ武石峠ニアリ方言ヲドメイシ又ブセ

キトモ云フ又薩州羽州ニモアリ飛州ノ銅山ニ

テハサイサキト云フ又富士山ニテハカドイシ

ト云フ以上皆舶來ト同クシテ大サ四五分此等

皆方解石様ノ自然銅ナリ又播州ノモノハ形小

ニシテ一分許方言マスイシ又ヲサイジヨロウ

ト呼ブ所モアリ又防州山口ノ産ハ大サ二分許

方言ヤマノカミノゼニ又備後山縣郡ノ産ハ大

サ一分半許又小ナルモノ多シ方言カドイシ又

一種ハ舶來ニ形チ圓ニメ黄獨ノ實ノ如キアリ

大ナルハ一寸許小ナルモノハ五分許大小齊シ

カラズ質堅ク重シ赤黒色周圍ニ一分許ノイホ

多シ此レヲ破レバ内金色ニシテ束針紋アリ此

レ禹餘糧様ノ自然銅ナリ然レトモ唐山ヨリハ

皆蛇含石ト名ケ來ル破テ内ノ色ヲ見テ別ツヘ
シ内ノ色白クシテ錫ノ色ノ如キモノハ蛇含石
ナリコノ自然銅和産モアリ遠州ニテカ子イシ
ト云フ集解頌ノ説ニ品類ヲ多クアグ其信州
火山軍銅坑中云ト云フハ舶來無シ和産アリ
銅絲ハハリガ子也羽州秋田阿仁銅山ニ細キハ
リガ子ヲ束子タル如クシテ綠色ナルモノアリ
方言ナリデ是亂銅絲様ノ自然銅ナリ又火山軍
出者顯塊云云謂之銻石銻石ニ品類多シ皆自然
銅ニ混シ易スキモノナリ下ニ詳ニス一體大如
麻黍ト云ハ細カナル自然銅ナリ播州ノマスイ

シノ類ヲ指ス累累相綴至如斗大云云此レハ四
角ニシテ骰子ノ形ノ如キモノ多ク聚リ大塊ト
ナルヲ云フ金色ナルト同色ニメ青光アルトア
リテ玩物ニシテ見事ナルモノナリ此レヲ生薑
様ノ自然銅ト云フ一體如薑鐵屎之類ト云フハ
枝多クアリテ薑根ノ形ノ如キモノヲ云フ即チ
上文ト同ジクノ唯大小ト光リノ有無ヲ以テ別
チタルナリ今市人多以銻石爲自然銅燒之成青
焰如硫黃者是也ト云ハ銻石ノ一ナリ和産アリ
テ舶來無シ形チ自然銅ト同クシテ方ナルモ圓
ナルモ細ナルモアリ自然銅ト銻石トノ別チハ

燒テ試ムヘシ自然銅ハ火ニテ燒クニ飛バズ燃
ズシテ火トナリ此レヲ冷セバモトノ形トナル
鉛石ハ火上ニ置ケバ青キ火モエテ硫黄ノ臭ヲ
リテ灰トナリテモトノ形チノコラズ一種有殼
如禹餘糧擊破其中光明如鑑色黄類鉛石也ト云
フハ禹餘糧様ノ鉛石ナリ圓ニシテ自然銅ノ形
ト同ジ紀州熊野ニアリ方言ギンカド濃州ニテ
キンフクロト云フ又豆州ニモアリ一種青黄而
有_二牆壁_一成文如_二束針_一ト云フハ方ニシテヤスリメ
ノ有ルヲ云フ此レ方解石様ノ鉛石ナリ此レヲ
サイロツポウト云フ一種碎理如團云云ト云フ

ハ形チ細小ニシテ方ナルモノ多ク塊ヲナスモ
ノヲ云フ又粒々離レタルモアリ金色或鐵色或
青黄ニシテ赤ミアルモ有リ皆火ニイルレバ青
キ火トナリテモユ城州嵯峨ノ大堰川ニ形小ニ
シテ鐵色ナルモノ稀ニ有リ皆石中ニ胎ス又丹
波ノ産ハ二分許アリ又諸國ヨリモ出ツ豆州ノ
熱海ニテジヤカト云フ是碎理鉛石ナリ此外自
然銅鉛石ノ品類猶多シ茲ニアグルモノハ大略
也又右ノ本條ニ金牙石アリ通名方金牙此レモ
散子ノ如ク方形ニシテ自然銅ニ混シ易シ火ニ
テ燒テ飛ヒ去ルヲ以テ辨別スヘシ又諸國ヨリ

出ル盆玩ノマキズナニ四角ナルアリ鉄色モ金
色モアリ細ナルハ粟ノ如ク大ナルハ骰子ノ如
シ此金牙石自然銅銆石ノ三物也此ノ中ニ四角
ニ限ラズキリコノ形チニナリタルモアリ故ニ
總ジテキリコズナトモ云ヒキリコイシトモ云
フ

集解馬竅勃即馬勃也和名ホコリダケ大礫石

大ヒナル銆石ナリ

銅礦石

アカヅ子ノアラカ子ハクイシ
石ニ金星アツテ紫色ニ光リアルヲベニハクト

云青キ光リアルヲトカケバクト云皆上品ナリ

黄色ニシテ光リアルヲ黄ハクト云ヒ又ナタ子

バクトモ云フコレ下品ナリ色ノアサキラサウ

デンハクト云上品ノ銅礦ヲ鎔化シテトリシ銅

ヨリハ銀多ク出ツ下品ノ銅鑛ヨリトリタル銅

ニハ銀少シ銅ノ長サ一尺半許幅五六寸ニヒラ

タクシタルヲ平銅ト云天工開物ニ謂ユル方長

板銅ナリ

集解麤弘法ムギ即大ムギノ一種ナリ又別一種

弘法ムギ一名オニゼキセウト呼ブ者アリ即節

草ナリ和名同名異物薑石セウガ石本條アリ

有銅星アカビ子ノ如クギラツクホシアルヲ云
銅青

ナラロクセウアカビ子ノロクセウ
和州南都ニテ造ル故ナラロクセウト云フ畫家
サイシキニモ用ユアカビ子ニ醋ヲツケ火ニテ
アタムレバ青キサビヲ生スルヲコソケ取り
水飛スル物ナリ和ノ眼科ノ書ニロクセウト云
フハ皆コノ銅青ナリ石緑ニアラス天工開物ニ
ハシンチウニテトル法ヲ言ヒ本草彙言ニハ銅
ニテ取ル法ヲ言フイヅレニテモトレ易シ

集解空緑ハイワロクセウ即自然生ノロクセウ

ナリ蝦蟆背ノモノ上品ナリ

鉛

ナマリ

一名黒鉛附 烏錫同上 錯本始

釋名金公ハ鉛ノ字ヲ二字ニワカチテ鉛ノ異名

トス是時珍抱朴子ノ誤ヲ受タルナリ鉛音終美
鐵也ト説文ニ出ツ鉛ノ字ト同カラズ水中金
コレハ鉛ノ一名ナリ又萬病回春ニ混元衣ハ即
千水中金ト云藥性纂要ニ此製法ヲ詳ニ載ス又
藥性解ニ婦人月水ヲ水中金ト名ク又寶藏論金
ノ品ニ水中金ノ名アリ皆同名ナリ

集解 金剛鑽ハ金剛石ノ一名也ギヤマン石ノ草
節鉛ハ單生鉛ト云テナマリノ上品ナリ倭鉛ハ
トタシナリ、爐甘石ヲ再鍊シタルモノナリト云
五金挫杆ハ龍ト佗物ト交テ生スルヲ龍ノ九子
ト云典籍便覽ニ見ユ挫杆モノノ一也形虎ニ似
テ威力アリト云リ事物異名ニ挫杆ハ胡犬也所
以守也故名獄曰挫杆ト云鉛ハ五金ヲ自由ニス
ル故ニ此等ノ諸名アリ 補天石史記三皇本紀ニ出ツ

鉛霜

ナマリノ粉ヲキ ナマリノカヒ

一名 合白霜 藥性要畧大全

附方 根黄ハ黄蘗也

粉錫

京オシロヒ

一名 白膏 酉陽雜俎 流丹白膏 同上 流丹 石藥雅

丹地黄 同上 鉛英 車物異名 塗坯 同上 粉心 同上

五花直 同上 杭粉 外科正宗 杭州者上品 朝粉 天工開物

一名 胡粉 京オシロヒノ一也鉛ヲ薄ク片ニシ醋
ニテ蒸シテ採ル數度蒸シトレバ鉛漸漸ニ減ス
畫家ニ用ルゴフンハ蛤粉也胡粉ニ非ズ混ズベ
カラズ又チヤンヌリンノ白色ナルハ京オシロヒ
ヲ入ル茶碗ノ白藥ニハ豊後玖珠郡ノ白土ヲ用

ユ焼テ白色變ゼズモシ京オシロヒヲ用ユレバ
焼テ赤クナル何ントナレバ焼ケバ丹ニナルユ
ヘ也

釋名水粉 水銀粉モ水粉ト名ク藥性要略大全

ニ出ツ和方書ニハ葛粉ヲ水粉ト云

正誤恭曰云云是誤ナリ錫ヲヤキテハ黒灰トナ

ルナリ志曰云云英公李勣序此ハ李勣ノ序ニ非

ス孔志約ノ序ナリ唐高宗ノ時司空英國公李勣

ニ命メ陶弘景ノ注ヲ弘メシム此ヲ唐本草ト云

其後顯慶中蘇恭ニ命メ唐新本草ヲ作ラシムソ

ノ時禮部郎中孔志約ニ序ヲ作ラシム其序ニ曰

鉛錫無辨橙柚不分是陶弘景粉錫花鉛所作ト云

ヲシシリシ辭ナリ

集解菴ハラハフト訓スモノ汝子サスナエ云

氣味收蟹ノ沙ノ味クヌシクナルヲ云

附方香油ハ胡麻ノ油ナリ松香ハ松脂ナリ

鉛丹 一名號丹本草義國丹壽世保元獨丹因

鉛黃華石藥爾雅軍門同上金柳同上

華蓋同上龍汁同上

丹ハモト辰砂ノナリ和名ニ丹ト云モノハ辰

砂ニ比スレバ色黃ナリ故ニ唐山ニテハ黃丹ト

本草綱目 卷之四
云即今ノ長吉丹ナリ今藥肆ニテ黃丹ト云ハ下
品ノ丹ナリ燒タラズノ灰色ニナリタルヲ云大
ニ誤ナリ昔ハ塚ノ長吉丹ヲ上トス市兵衛丹ヲ
次トス市兵衛丹ハ白粉ヲ取タレ渣ヲ以テ再ビ
ヤキテ丹トナス故ニ^ハ、因テ長吉丹ヲ上ト
シ市兵衛丹ヲ次品トス今ハ市兵衛丹ナシ故ニ
長吉丹勝吉丹之上品トシ光明丹ハ次トシ菊丹
菊^ノ印^{アリ}下品トス凡藥ヲ丹ト云ハ單ノ意
ナリ單方ヲ以テ萬病ヲ治ス故ニ丹ト云又仙家
ノ靈藥ヲ還丹ト云故ニ稱美ノ言ナリ
集解金汁ハ黃色ノ汁ナリ漂去ハ水飛スルヲ也

蜜陀僧

山口カスルゾコ^シロカ子ノ子^リコ^ニ
ルカス

一名甜面淳子録耕 灰坯本草 陀僧本草

銀ノ灰吹ノカスヲ銀蜜陀僧ト云質甚重クシテ
灰色ナリ出羽ノ秋田長門ノ萩豊後ヨリモ出ス
舶來モアリ金蜜陀僧ハ和産ナシ舶來アリ皆古
新ノ別アリ金蜜陀僧ハ色黃赤ニシ東鐵紋アリ
テ甚重シ蘇恭ノ説ニ似黃龍齒ト云是ナリ古今
醫統ニ金錫ト云フ銀錫ハ別物ナリ物理小識曰
鉛一斤入石膏末一錢半攪清亮又入輕粉一錢半

本草綱目 卷之四 錫

傾平地上便成白鐵此漢書所謂銀錫也

集解黃龍齒龍骨之内ノ齒ハ形ノ迂以テ龍齒

ト云此ニ似テ黄ナル故黃龍齒ト云其リ理石

ハ石膏ノ一種文理コマカニテ長ク云フ本

條アリ

錫

一名**秃忽都罕**事物異名

花錫訓蒙字會同上

山錫ハ山中ニ生ス溪中ヨリ出ルヲ水錫ト云フ

錫瓜ト云ハ瓜ノ如ク大ヒニ塊ヲナスヲ云フ又

細カナルモノヲ錫沙ト云皆天工開物ニ見タリ

考フベシ錫ハ豊後日向伊豫ニ出鉛ヲ雜ヘザル

ヲ俗ニシヤリト云上品ナリ本邦ニ出ルハ多

クハ塊ヲナス凡スバノ道具ノクボミヤスキハ

鉛ヲ雜ルヲ多キ故ナリ下品也

釋名白鐵本邦ニテシロメノヲ云故ニ古

書ニシロメノコトヲ白鐵ト記スシロメノ方ハ

鉛一斤シヤリ十兩ヲ煉テナス銅器ノ中ニロク

ニハ下タ地ニ松脂ヲ塗リ其上ニシロメヲヒク

松脂ヲ用ザレハシロメ付ズ故ニ氣味注ニ松脂

錐錫ト云錐ハツギモノノ藥ヲ云也

本草綱目 卷之四 十七 錐錫

古鏡

フルカバミ

鏡

一名菱花法名物

金炯異名物

方諸同上

容成侯

同上

壽光先生同上

垂里

同上蒙古ノ名

壽光

廣林

壽光客

故事成語

無隱

便覽

圓明上座

同上

鏡ヲ製スル法ハ赤銅錫等分ヲ用ユ周禮攷工紀

ニ金錫半謂之鑿燧之齊ト云又天工開物ニ詳ニ

記ス唐山ニ軒轅鏡ト云テ正圓ナルカバミアリ

屋上ニ懸クレハ狐狸妖ヲナサズト考槃餘事ニ

出タリ

錫銅鏡鼻ハ鏡ノウラノトツテホリ開クニ

鏡鏽ハカバミノサビ

古文錢

フルキゼニ

一名

古老錢

廣林

青銅錢

大古錢

同上

古文銅錢

同上

青錢

同上

古銖錢

附方及

錢

一名

泉布

異名物

銅幣

同上

圜老

同上

金幣

同上

孔方

同上

方兄

同上

阿堵物世說

青鳧

廣林

集山

法名物

板兒

雜存

如兄

故事白眉

家兄

事物

我家兄

同上

鏐

同上

王老

同上

神物

同上

指痕

便覽

白選

同上


通神

同上

本草啓蒙 卷之四
藥ニハ五百年之外者即可用ト時珍ノ説ニアリ
本邦ニテモ和銅以下乾元大寶ニ至ルマテノ十
一錢皆五百年ノ外ナリ乾元大寶ハ一人皇六十
二代村上天皇天德二年ニ鑄ラルヨリ六
百七十九年ヲ歴テ百十代明照院帝寛永十三
年六月ニ寛永通寶ヲ鑄ラル今ニ至テ百六十餘
年永ク行ル唐山ニテハ顧烜錢譜ニ卷封演續錢
譜一卷張古錢譜三卷董道錢譜一卷洪遵泉志
古リ共ニ古錢ヲアツム周禮攷工記曰金有六齊六
分其金而錫居一謂之鍾鼎之齊五分其金而錫居
一謂之斧斤之齊四分其金而錫居一謂之戈戟之

齊參分其金而錫居一謂之大刃之齊五分其金而
錫居二謂之削殺矢之齊金錫半謂之鑿燧之齊
集解 天口五 十口泉 篆文 大泉五十八泉志曰周景王二十一年
鑄大泉五十及寶貨 兩 并 篆文 秦始皇鑄之重十二銖
漢莢錢ハ前漢ニコレヲ鑄ル形小ヲ榆莢ノ如キ
也ソノ文 漢興 篆文 ト云食貨志曰漢興以爲秦錢重
難用更令民鑄莢錢顧烜曰今世猶有小錢重一銖
半徑五分文曰漢興 大小五銖ハ前漢武帝元狩
五年鑄之徑一寸重五銖又武帝有鍾官赤側錢五
銖錢也後漢ニモ通行 吳大泉五百ハ吳孫權嘉
禾五年鑄之 大錢當千ハ孫權赤烏元年鑄之

本草啓蒙 卷之四 一 泉貨考

宋四銖ハ南史文帝元嘉七年冬鑄之、又世祖孝建元年鑄之、二銖ハ宋前廢帝永光元年鑄之、梁四柱ハ梁敬帝太平三年夏四月巳卯鑄之、一准二十、後改一准十、北齊常平五銖ハ齊文宣帝天保四年春正月巳丑行之、又有折二折三折ハカヘルナリ一錢ヲ以テ二錢ニカユルヲ折ニト云折色銀ト云ハ年貢米ヲ代銀ニテ納ルヲ云、開元通寶ハ唐高祖始鑄、其後高宗乾封肅宗乾元以至大曆建中咸通各因其年以名錢、郭有大小肉有輕重皆歲久適然凡八分篆隸三品而背有甲文者制作精好ト泉志ニ云リ事林廣記ニ唐高祖武德四年

七月十七日行開元通寶錢、歐陽詢製詞及書字、含八分篆隸三體、俗謂之開通元寶、其錢徑八分重十二銖、四參ト云フ、開元通寶ハ唐高祖武德四年鑄ル所ニノ玄宗ノ開元年中鑄ニ非ズ、高宗ノ時ニ乾封通寶肅宗ノ時ニ建中通寶懿宗ノ時ニ咸通元寶通寶德宗ノ時ニ建中通寶懿宗ノ時ニ咸通元寶等ソノ時ノ年號ヲ用錢アレハ皆又シクハ行レズ、惟開元錢ハ唐代二百八十九年之間相續テ流行ス、故今ニ至テモ多シコレニ三品アリ背ニ甲痕アルモノ武德四年ニ鑄ルトコロノ錢ナリ此甲痕ノ一説ニ初メ蠟様ヲ進メレ時竇太后甲

痕ヲ付ラルト云又文德皇后ナリ云然レ唐
 錄政要ニハ是時竇后已崩文德皇后未立トアレ
 バ取用ガタシソノ痕上下ニ一アリ或上下ニ二
 アリ或一小點ヲ添ルアリ故ニ俗ニ月星ト云附
 方ニ用開元通寶錢背後上下有兩月痕者其色淡
 黑頗小ト云寸ハ月星ノ説可ナルベシ此錢徑八
 分故ニコレニテ唐ノ時ノ度ヲ知ル十錢ヲ一兩
 トスト云ニテ唐ノ時ノ權衡ヲ知ルベシ又開元
 二十六年已後錢甚惡詔所在置監鑄開元通寶錢
 ト唐書食貨志ニアリ此錢ハ背ニ甲痕ナシ又武
 宗會昌年中ニ鑄ル新開元錢ハ此時天下ノ佛寺

ノ廢ス宰相李德裕廢寺ノ銅鐘佛像僧尼瓶
 碗等ヲ以所在本道ニ於テ錢ヲ鑄ンテ奏請ス
 勅アリテ本州ノ郡名ヲ背文トス京兆府ニテ鑄
 ハ京ノ字アリ洛陽ニテ鑄ルハ洛ノ字アリコノ
 外揚益藍襄等字二十三様アリ以上開元錢ノ三
 品ナリ度衡ノ手本トスルハ甲痕アルモノヲ用
 ヘシ於江心鑄鏡典籍便覽ニ異聞集ヲ引テ天寶
 中揚州進水心鏡背有盤龍先有老人自稱姓龍名
 護至鑄鏡所三日失所在鏡匠移爐至船以五月五
 日於揚子江心鑄之背龍頗異後大旱祠龍乃大雨
 銅弩牙

ノホユミノツルカケ

考ハ三才圖會天工開物及唐土訓蒙圖彙等ニ圖

アリ

諸銅器

銅鉛鋸 セノシ 即熨斗也斗ハ柄也炭ヲ入ヲ

炭斗ト云墨ヲ入ヲ墨斗ト云ノ例也

銅秤銚

銅匙柄

鐵

子リ和名鈔本久ロガ子 マガ子 古歌

一名堅老 異事物 異名

黑鐵 開物

烏鐵 附方子

忒木兒

事物 異名

鐵頭

訓蒙

熟鐵

一名水鐵

藥 本草

豆腐鐵

物 識

熟鍊 通雅

錄鐵 本草

クロガ子ハ總名ナリ生熟鋼ノ三品アリ砂鐵ノ

名ハ天工開物ニ出タリ是ヲ和名ニ鐵砂ト云備

後ハ方言カンナ此ヲ埴ハカニ入レ炭ニテワカセバ

上ニカス浮フ是ヲツヨシト云鐵屎ナリ下ヘ沉

ムモノハ鐵ナリ故ニルツボノ下ノ横ニ穴ヲア

ケテ鐵ヲ出ス是ヲ俗ニヅクト云是ニテ鍋釜ノ

類ヲイル故ニナベガ子ト云フワレヤスクノカ

タキ者ナリ是ハ一日ワカシテ成ル也是生鐵ナ

リ又七日ホドワカレテ穴ヲアケテ出ス者ヲ俗ニケラト云是熟鐵ナリ是ヲヤハラカバ子。キタイガ子。ナマガ子ト云コレヲイヌタビモ煨テ打テ器ニ造ル又砂鐵ヲ十一日ホドワカレテルツホニ穴ヲアケ出スラハガ子ト云是レ鋼鐵ナリ時珍曰是鐵與金銀同一根源也ト然レ凡本邦ハ然ラズ鐵ハ土ニ混メ生ス金銀ハ土石中ニ生凡鐵砂ヲ取ルハ山ノフモトニ溝ヲ掘リ水ヲ通シ其溝ノ中ヘ土ヲクズレテ流セバ鐵ハ下ニノコリ土ハ流ルソノ鐵ヲトリテ二三遍モユリテ後ルツボニ入テワカス是即生鐵也又アラカ子

塊ヲナスモノアリ是ヲ土錠鐵ト云本邦ニモ秩父ニアリ鐵ノ出ル處出雲備後陸奥日向但馬其外諸國ニアリ

集解生鐵ヅク 磨鑪ハヤスリニテヲロスヲナリ

鐵砂ハヤスリノヤスリコハガ子ノセンクス時珍曰以廣鐵為良云廣ハ南方嶺南ノ地ニノ上鐵ノ出ル處ナリ廣東新語曰凡鐵一枚層層剖之皆有木葉紋向背不一山有某木則鉄中有某葉紋深掘之至數十丈莫不皆然 甘州肅州土錠鐵ハアラカ子ノ塊ヲナスモノナリ天工開物曰凡土錠鐵土面浮出黑塊形似稱錘遙望宛如鐵撚之則

碎土 荆鐵 上饒鐵ハ詳ナラバ賓鐵出波斯ト

云剛鐵生西南瘴海中ト云ハ金剛鑽ノ一ヲ云赭

ハ代州ヲ上品トス故ニ代赭石ト云新渡上品ナ

リ今和産モアリ

勞鐵ハフルカ子ナリ又廢鐵大明會典敗鐵增續韻府凡云

鋼鐵

ハガ子

一名鉅鐵紺珠

日本諸國ニ出播州雲州伯州作州石州等ヨリ多

出ス凡鋼鐵ヲ用ヒテ諸刀ヲ造ルニ銷拍スルノ數

多キハ剛利ナリ然レ各定度アリ剃刀ハ十三次

刀劍ハ十五次鉋カキハ十一次庖刀ホツテハ四次小刀ハ五

次モシソノ度ヲ過ストキハ反テ柔鈍トナル也

鐵ヲ鍛鍊スルトキ少ニテモ鉛銅ヲ雜入レハ生

鐵トナルト云フ唐山ニハ自然生ノ鋼鐵アリ

本邦ニハナシ

集解團鋼ハニセハガ子ナリ本邦ニテモ製ス

又下品ノ諸刀ハ熟鐵ニテコシラヘ一方ヲヤキ

テ水中ニ淬シテカトス

鐵粉 蘇頌ノ説ハ鋼鐵ヲヤキタルセンクズナ

リ 鐵砂ハハリヤノヤスリコハリヤノセン

クズセンクズヲ鐵砂ト書スルハ和名也 鋼砂

ハバガ子ノセンクスズ 柔鐵砂ハナマガ子ノセ
ンクスズ

鐵落

ナベガ子ノトビクスズ カナクスズ

釋名 碑字ハ石ズリナリ コ、ハハマイシズリ

ノ、ヲ云コレヲ 逡巡碑 古今ト云 碑ニミテ

鐵精

クログ子ノホゴリニハ自然土ノ精

一名 鐵精粉 附方 鐵渣 同上

鐵華粉

クログ子ノコフキ

一名 鐵角粉 附方

鐵鏽

クログ子ノサビ

一名 鐵生衣 附方 鐵生 外臺 鐵上生衣 千金方

鐵秀水 回春

鏽ヲ銑 正字 凡云鏗 同上 鐵鏽ハ本草蒙筌ニ著 溼

即有生鐵上者 纔佳ト云フ

鐵熱 音絶

テツノアセ

鐵漿

カ子ハダグロ 入齒マ

本草卷之四
鐵器
二
鐵器

藥ニハ深家ノ鐵漿ヲ用ユ婦人齒ヲノムル者ハ
酒ヲ入ル故ニ用ヒズ

諸鐵器

鐵杵 テツノキ子

鐵秤 鐵ニテコレヲヘタルハカリヲモリチ

ギノヲモリ

鐵銃 ホテツホウ

一名鳥銃 武備要畧 火銃 訓蒙 鐵砲 大典

銃筒 訓蒙

鐵斧 オノヨキ

一名脩良 法言 斧子 訓蒙

鐵刀 カタナ

一名鐵鯉將軍 事物異名 云都 同上

磨刀水 トギミツ 地水類ニ出ス

大刀環 カタナノツカノクハン

剪刀股 唐ハサミノモ

鐵鋸 ノホギリ 和名鋏 ノコギリ ノコ

ノフキリ 上總 ノコスリ 上州 南都

一名鋸兒 訓蒙

布鐵 ハリ モノナイバリ

一名青玉 名物 衣鍼 醫宗

鐵鍬 ヤジリ

本草卷之四
鐵器

鐵甲 ヨロヒ

一名鉀韻會 介廣雅 函同上 鎧字彙

金鎧異事物 文鎧 鐵衣 金衣 忽都同上

鐵鎧志武備 身甲三才圖會 衣甲訓蒙

鐵鎖 ジロウ 和俗錠ノ字ヲ用ルハ非ナリ

ジヤウノヒツヲ閉禮記ト云一名鎖筒同上

エビヲ鍵禮記ト云一名鎖鬚訓蒙又クサリモ

鐵鎖ト云同名也通鑑晉記以鐵鎖橫斷江路杜

甫詩午尋鐵鎖沈江底此二者ハクサリノ一ヲ

云フ又鍊條凡鐵索凡云共ニ類昏纂要ニ見タ

リ

鑰匙 カギ

一名管禮記 管鑰同注 鎖匙同上

鑰錠訓蒙 鑰牡南史 鑰鈎通鑑 鑰正字通

鐵釘 クギ

鐵鐸 スキ

一名鐸子訓蒙 鐸正字通 鉄同上

鐵犁鑿火 カラスキノサキ へラサキ土州

一名犁壁易大全

車轄 クルマノクサビ

一名車所也只 轄子訓蒙

馬銜 ク、ミ和名鈔 クツワ ハミ クツハミ

本草綱目 卷之四 三十一 車

一名馬勒御覽 鞞同上 水環訓蒙 嚼子同上

鞞頭同上 排沫異名 扇汗同上 麤須知

直脚鐵同上 鑣說文

馬鐙アブミ

一名金葉主治 踏鐙須知

石之二 玉類一十四種

玉

タマ

一名龍輔異名 懸黎 齒老温同上

孤穩焚椒錄 岷山事林

白玉一名 酥玉法名 純陽主石藥

珉玉行厨集

本條ハ白玉ヲサス和産加州豊後等ニ出ルモノ
ハ多クハ瑪瑙ニシテ玉ニ非ス舶來器物ニ作タ
ル玉ニ白色アリアサギ色アリ綠色アリ凡玉ハ
タ、ケハ聲アリテ金ノ如シ同シ狀ナレ凡聲無
キモノハ馬瑙ナリ水晶ハヨクスキトナリ玉ハ
スキトナラズシテ温潤含蓄ノ氣象アリ玉ノ
ハ天工開物ニ詳ナリ又典籍便覽ニ青玉倭國ヨ
リ出ト云

集解 弘景曰于闐ハ蠻國ノ名ソノ玉ヲトルハ

天工開物ニ詳ナリ 燕石ハ列子ニ出ツ石ノ玉

本草綱目 卷之四 三十一 石

二似タルモノナリ珣曰石韞玉ト云ハ璞ノ一ナリ
 頌曰撈玉ハ玉トトル一ナリ赤如雞冠ト
 ハ典籍便覽曰色貴真正白如酥者為貴凡冷飯色湯
 色油色及有雪花者皆次之黃如栗者為貴謂之甘
 黃焦黃色者次之碧如藍靛者為貴或有細墨星者
 色淡者皆次而黑者如漆謂之墨玉雜色價低西蜀
 有之赤者紅如雞冠今世少見又有綠玉其色深綠色
 淡者次之其中有飯糝者最佳玉符ハ玉ノ目ジルシ
 ト云一ナリ儀州出一種石コレハ玉ニ非ス雲
 林石譜曰兗州出石如褐色謂之粟玉有巉岩峯巒
 勢無穿眼其質甚堅潤扣之有聲堪為器頗費鑄礪

工人貴重之承曰階州白石雲林石譜曰階州白
 石產深土中性甚軟扣之或有聲大者廣數尺工人
 就穴中鑄刻佛像諸物見風即勁以滑石末治令光
 潤或磨瓏為板裝制硯屏瑩潔可喜凡內府遺投金
 龍玉簡於名山福地多用此石以朱丹之時珍曰
 赤玉ハ甚稀ナリ菜玉ハ如菜葉此玉色之最低
 者ト典籍便覽及青玉ノ條下ニ出ツ古禮玄珪
 云コレ前ニ云フ六器ナリ群昏拾唾ニ玄珪ヲ青
 圭ニ作ル典籍便覽ニ禮有五玉青珪赤璋白琥玄
 黃唯黃琮之玉難得故銀與玉皆以黃為貴ト云五
 玉ノ圖ハ三才圖會ニ見タリ珠ハ蚌ヨリ出ツ

玉ハ石ヨリ出ツ王之精如美女 玉精一名委然
 形如美女衣青衣見之者挑戈刻之呼其名則可得
 也ト典籍便覽ニ出ツ 珉珠云皆石ノ玉ニ似タ
 ルモノナリ 鑪子玉ハ一名硝子ビイドロナリ
 氣眼ハ中ニ沫アルヲ云 稗官ハ百川學海說郭
 等ニ收入スル小説ノ書ヲ云 火玉ハ典籍便覽曰
 色赤長半寸上尖下圓光照數十步積之可以燃鼎
 置室内不復挾纒唐武宗時夫餘以此入貢 暖玉
 ハ典籍便覽曰暖玉杯唐寧王有此酒不暖自熱又
 珍玩考曰自暖玉内庫有一酒盃青色而有紋如亂
 絲其薄如紙於盃足上有鏤金字名曰自暖杯上令

取酒注之温温然有氣相吹如沸湯遂收於内藏
 香玉ハ典籍便覽曰又名辟邪玉辟邪香珍玩考
 曰肅宗賜李輔國王辟邪二各長一尺五寸巧殆非
 人間所有其玉之香可聞於數百步雖鎖於金函石櫃
 終不能掩其氣或以衣裾誤拂則芳馥經年縱澣濯
 數次亦不消歇 寒玉ハ未タ詳ナラズ 軟玉ハ
 珍玩考曰天寶中興國獻軟玉鞭屈之則首尾相就
 舒之則勁直如繩 觀日玉ハ珍玩考曰大如鏡方
 圓尺餘明徹如琉璃映日以觀見日中宮殿皎然分
 明 宗奭曰燕玉ハ是前ノ燕石ニ非入別ニ燕國
 ヨリ出ル玉ナリ

玉屑タマノスリクツ

一名白虎精 千金方

玉泉玉漿ノ説ニ因レハ玉屑ニテ製スルコソ

白玉髓タマノアブラ

今玩石家ニテ玉髓ト名クルモノ數色アリソノ

形或ハ人ノ如ク或ハ佛掌ツツ薯イモノ如ク或ハ冰筭ツツノ

如シ東北州ヨリ出ヅ即馬腦ノ髓ノ吹出タルモ

ノナリ又雲州玉造ニモ馬腦多シ立波石ト呼モ

ノアリ此亦馬腦ノ髓ノ吹出テ、波浪ノ形ノ如

クナリタルナリ此等ハ皆馬腦髓ト稱スベシ眞

ノ玉髓ハ和産ナク舶來モナシ

集解時珍曰瑾瑜之玉ハ美玉ノ名山無心草ハ二

物同名アリ一ハ微銜ニシテ張良草ナリ一ツハ鼠

麴草ニシテハ、コグサナリコ、ハ何レヲ指カ詳

ナラス

青玉

青玉タマ

ウスアサギ色ノ玉ナリ器物ニ作ルモノ舶來ア

リ

附録璧玉ハ詩經書經ニ出タリ形錢ノ如クニシ

本草啓蒙 卷之四

三十一 泉芳軒藏

三十一 泉芳軒藏

三十一 泉芳軒藏

三十一 泉芳軒藏

三十一 泉芳軒藏

三十一 泉芳軒藏

三十一 泉芳軒藏

三十一 泉芳軒藏

本草綱目 卷之四 石部 青琅玕

穴圓シ外内俱三圓ナルモノ壁ナリコハニ外圓
内方ト云ハ錢ノフニシテ壁ニアラス肉ハ壁ノ
邊ナリ好ハ孔也
玉英、カバミイシ城州鷹峯路旁ニ大石アリソ
青ノ面明ニシ物ノ形ヨクウツリテ鏡ノ如シ又諸
國ニアリ
合玉石、コンゴウセウ色赤黒キ砂ナリ又黄赤
色ナルモアリ形多ク稜角アリテ玉石ヲ切り或
ハ磨クニ用ル砂ナリ河州ノ金剛山和州ノ生駒
山等ヨリ出ス又丹後土州及諸州ニアリ讃州ニ
ハ大塊四五分ナルモノアリ又天工開物ニ解玉

砂ト云ヒ通雅ニ邢砂ト云モ皆此物ナリ
青琅玕

一名青珊瑚 物理小識 青珠琅玕同上 白碧珠 石藥爾雅

石欄干 藥性奇方
形狀ハ珊瑚ニ同シテ青色ナルモノナリ古ハ舶
來アリト云今ハナシ 本邦ニテ鬻クモノハ青
色ノ硝子ニテ造リ上ニ泥ヲヌリ透明ナラザル
様ニ贗タルモノアリ又近來ハ本邦馬腦ノ生
スル山ヨリ精髓ヲキ出テ、鍾乳ノ形ノ如ナル
モノヲ出ス即前ニ云馬腦ノ髓ナリ市人圓ニソ

本草綱目 卷之四 石部 青琅玕

短ナルヲ玉髓トシ長クシテ細ク微シ青色ヲ帶ル
モノヲ青琅玕トス是ハ稀ニアリ然トモ真ニ非
ス南京ヨリ來リシ青馬腦此類ナレトモ枝ナシ

集解 球琳ハ玉ノ美ナルモノナリ

珊瑚

サンゴジュ 同シク青ニシテ赤ニシテハ赤珊瑚ト云フ

一名赤珊瑚 廣輿 烽火樹 異名 烽火柏 廣東新語

紅珊瑚 精微

海底ノ石ニ生ス海中ニテハ軟ナリ水ヲ離レテ
青風ニアタレハ堅クナルコト石ノ如シ船來ノ品
ニ阿瑪港ト云アリ色淺紅黃ニシテ光アリ縦ニ木

賊ノ如キ細ナル紋アリコレヲ上品トス宗奭珊

瑚有紅油色者細縦文可愛ト云モノ是ナリ廣東

新語ニ紋細縦而色殷紅如銀硃有光澤者爲貴ト

云紀州熊野ニ殷紅色ナルモノアリ船來ニ一種

血ダマト云アリ色深赤縦理ナシ此レ下品ナリ

凡ノ齒ニアテ聲アルヲ真トス聲ナキヲ僞トス

又鯨齒或ハ鹿角ヲ用テ紅花汁ニテ煮僞ル者ア

リ又珊瑚ニ似タル玉南京ヨリ來ル猩猩石ト云

是モ皆縦理ナシ此外煉物ニテ種種僞物アリ真

ノ珊瑚ハ紀州但州能州ニテマレニ網ニ掛リテ上ルモノ有レ尾皆至テ

小キ枝折レタルナリ僅ニ徑リ二三分許長サ五六寸アリ又白

珊瑚アリ是ハ嫩クノ未ダ紅ナラザルモノナリ外ニ縦文アリテ折レハ其心桃紅色ナリ宗奭白如菌ト云是也漢名白珊瑚廣東新語相州ノ江島紀州ノ熊野ヨリ稀ニ出又海濱ニ二三分許ニ折碎タルモノアルヲ拾ヒ集メテ珊瑚スナト云又別ニ海ヒバアリ漢名ハ石帆ト云別ニ本條枝多ク網ノ如クナリテ葉ナシ外柔ニシテ内ハ硬ク骨アリ五色凡ニアリ赤黄ニ色ノモノハツノ骨皆珊瑚ナリ故ニ石帆ヲ碎キ沙盆ニ入レ水ヲ加ヘ磨スレハ皮ハ皆脱シ盡キ骨バカリ残り長サ二三分アリコレヲモ珊瑚スナト云テ盆玩ノマキ砂ニ用テ甚美麗

ナルモノ也其節ハ皆シダケテ骨ナシ故ニ枝ナシ又海中ニテ潮水ニ磨セラレテ自然ニ成リタルモノアリ最モ佳ナリ又時珍曰有黑色者ト是物理小識ノ黒珊瑚ニシテ諸州ヨリ出ルウミマツト云モノ也色黒シテ硬ク光アリ又琉球珊瑚一名島珊瑚一名又熊野珊瑚トモ云形珊瑚ト同シテ膚ニ細カナル穴アリ漢名海松ト云物理小識曰海松全相似惟有鍼眼

馬腦

和漢通名 廣輿記ニ碼碯ニ作ル

舶來蠻産和産品類多シ馬ノ腦ニ赤キ文理アリ

此物相似タルヲ以テ名クト云然ルニ珍玩考ニ
 瑪瑙ヲ即馬ノ腦トスルハ誤也 本邦奥州津輕
 加州越中ヲ上品トス常州及雲州王造ノノ餘諸
 州ニアリス今馬腦ハ赤黑白ノ細キ筋アリウツ
 馬腦トモ云コレ纏絲馬腦也○時珍ノ説ノ拍枝
 馬腦ハ栢ノ枝葉ノ如キ文理アルヲ云典籍便覽
 云栢枝瑪瑙質如水晶上有枝葉儼如栢枝濃州養
 老ノ瀧ノ近邊ニ大打石アリ養老ノ火打石ト云
 ノノ中ニ地衣ノ如キ形チアルモノアリ栢枝ヨ
 リハ細カナリ方言シノブイシト云フ淡青色ニ
 ノ其文理ハ淡黒是栢枝馬腦ノ類ナリ紅毛ノシ

ノブイシハ甚透明ニメ文理同シ上品ナリ是真
 ノ栢枝馬腦ナリ和産ハ透明ナラズ下品ナリ又
 諸州ノ硯材ニモ此紋アルモノアリ又奥州ニシ
 ノブ石アリ又同ク信夫郡ノ信夫イシ加州ノシ
 ノブ石ハ皆別物ニメ同名ナリ截子馬腦ハ黑白
 相雜ルヲ云一名ハ巾子馬腦典籍夾胎馬腦ハ白
 色ニメ内ニ赤色ヲ含ムナリ合子馬腦ハ漆色ニ
 メ白キスヂ一ツアルヲ云フ錦紅馬腦ハ本草彙
 言ニ其赤如錦花ト云漿水馬腦ハ本草彙言ニ其
 色如淡水花ト云醬斑馬腦ハ本草彙言ニ有紫紅
 花點ト云舶來ニ白色ニメ玳瑁ノ斑アルヲ石帶

ノ石ニコレヲヘタルモノ稀ニ有リ和名玳瑁馬
腦ト云コレ即醬斑馬腦ナリ曲蟾馬腦善ハ蟾ノ
字ノ誤ナリ曲蟾ハ蚯蚓ノ一名也内ニ蚯蚓ノ如
キ斑アルヲ以テ名ク紫雲馬腦ハ紋ノ形ニ因テ
名ク土馬腦ハ唐山ノ産ノ馬腦ヲ云フ

寶石

津輕舍利ノ種類

津輕舍利ハ奥州津輕今^{イノチ}別母^{ホロツキ}袋月ノ海中ニ舍利
ヲヤト云石アリ馬腦ノ類ナリ舍利コレヨリ生
出シテ遍體ニツクソノ形圓小ニシテ透明ナリ
ソノ色白或黄白色或紅色或斑駁數種アリ波ニ

ユラレテ海底ニ墮ルモノ又波ニテ磯邊ヘウチ
揚タルヲ拾ヒ得テ蓄藏スレハ年ヲ經テ子ヲ生
ス即馬腦ノ花ナリ佛家舍利塔中ニ收ムルモノ
多ハコレ也又寶石ノコ天工開物ニ詳ナリソノ
玫瑰ト云ハ津輕舍利ノ一也他書ニ玫瑰ト云ハ
赤キ玉ノ一ナリハマナスヲ玫瑰花ト云モ實ノ
色赤玉ノ如キヲ以テ名ク真ノ寶石ハ坑井中ヨリ
トリ出スト云種類多ク五色共ニ數名アリ典籍便
覽及輟耕錄ニ詳ナリ舶來ニ葡萄石ト云モノア
リ是物理小識ノ蜻蜒頭ナリ津輕舍利ノ類ニソ
大サ葡萄^{ブドウ}類ノ如シ故ニ名ク今^{イノチ}別ノ海邊ノソガ

ル石モ葡萄石ノルイニノ即馬腦ナリ又寶石ノ
 一種ニガク口石ト云アリ又ジャク口砂凡云フ
 コレハ紅毛ヨリ來ルモノ形安石榴ノ子ノ如ク
 色赤シ又黒ヲ帶ルモアリ盆玩ニ用ヒテ最美麗
 ナリ此即集解ノ石榴子ナリ然レ凡硝子ニテ偽
 ルモノ多ク真物ハ稀ナリ奥州舍利濱總州銚子
 口及蝦夷等ニ蠻産ニ似テ下品ナルモノアリ又
 舶來ニトシホウ玉ト云アリコレハ黄白色ニノ
 正中ニ猫睛ノ如キ點アリ是集解ノ猫睛石ナリ
 又淡青色ノ硝子ニテヲジメノ如キモノヲコシ
 ラヘ櫻花ノ畫アルアリ俗ニクスリ玉ト云之ヲ

トシボ玉ト云ハ非ナリ是蠻人ノ衣服ノ鈕釦ナ
 リ猫睛石ノ一ハ典籍便覽物理小識ニ詳ナリ物
 理小識曰寶石藏璞中有生水_下水中者中含_ニ活光一縷
 煮酒色者曰猫睛大者虎睛光燄閃爍亦有豈青湖
 水色黒色其無_ニ活光曰裸子蜻蜒頭走水石

集解瑟瑟ハ寶石ノ碧色ナルモノヲ云奥州松前
 ヨリ出スムシノスト云者コレニ似タレ凡別ナ
 リムシノスハ奥州ノ方言アヲダマ又松前ダマ
 凡云皆練モノナリ然凡真物スクナシ

鞣鞞 物理小識ニ一名紅瑠和産ナシ
 玻璃 字彙ニ頗黎玉ニ作ル典籍

本草綱目 卷之四 三十一

和産ナシ天竺七寶ノ一ナリ真物ハ唐山ニモナ
シ故ニ多クハ硝子ニテ造リタルヲ玻璃ト云長
崎ニ來ル清高モ硝子ヲハウリイト云即玻璃ノ
唐音ナリ今藥肆ニ古渡ノ玻璃ト云モノアリ形
チ白石英ニ似テ微シカドアリ明徹ナラズシテ
玉ノ如シ是ハ水精ニテ偽ルモノニノ真物ニ非
ズ又肥後ニ玻璃石ト云モノアリ即水晶ノ下品
ナリ玻璃ヲ本草蒙筌ニハ即水精ノ一トス又大
和本草ニモ玻璃ヲ水晶ノ梵言ト云時珍ノ説ハ
玻璃ト水晶ト二條ニスレ天竺ノ七寶ニモ玻
璃アリテ水晶ナキ寸ハ一物トスルノ説ヲ優リ

トスベシ

水精

和漢通名

一名王瑛事物異名

水精和ニ多シ集解ニモ倭國第一ト云廣輿記及
物理小識ニモ日本國水晶有青紅白三色ト云然
トモ紅ナルモノハ稀ナリ青モ多カラズ只白黒
ノ二色ハ多シ水精石英モト同物ナリ故ニ水精
釋名ニ石英ノ名ヲノス石藥爾雅ニ白石英一名
水精ト云從來土中ニアルヲ水精トシ石ニツク
ヲ石英ト云フ説アリ綱目ニモ各條ニ出ス并ニ

本草綱目 卷之四 三十一 泉芳軒藏

穩ナラズ往年木世肅ニ答ル水精説了リ曰水精之於石英也異稱同質矣而石英之名狀不一而足或生于石上或産于砂中或胎于腦砥諸石内其胎者細碎如鮫皮實石之英華也砂中者近江州多有石上者諸州亦産此二者大小不等俱天然六稜如削成其最者琢作變慧火珠念珠諸器稱為水精而異邦之書往往稱日本之水精念珠又言倭國多水精第一是皆指已成器者為言而未論其原質是石英也李氏綱目頗畧雖不言水精有六稜而釋名既存石英之名而石藥爾雅石英一名水精可以徵焉且皖桐方氏以直起者為水晶筍標下老人亦稱

含水水精而我邦石英含水者極多則其水精石英之為一物也益明矣或曰生于土中者為水精生于石上者為石英或曰稜角如削者是石英無稜角者是水精皆為不允當矣予亦嘗掘得無稜角透徹如泉者一塊於庭際是乃係既經破碎者固非其原質也而我邦古來多産及造器者皆是此石英也則其與水精為異稱同質者為不亦穩乎

附録 火珠

ヒトリダマ
水精ヲ圓形ニスリタル玉ヲ俗ニ水晶輪ト云人物コレニ向テ照セバソノ形必倒ニウツルモノナリ此ニテ日輪ノ陽火ヲ取ルベク月中ノ陰水

本草啓蒙 卷之四 三十九 象光軒

ヲ取ベシ故ニ火トリダマ水トリダマト呼ブ就
中陽火トレヤスキ故ニ火珠ト云然凡水精ニカ
ギラズ凡透明ナルモノ硝子或ハ氷ニテモ凸ニ
製タルモノニテ皆火ヲトルベシ物理小識曰紅
者曰火晶可取火白者曰水晶可取水亦可取火
硬石 未ダ詳ナラズ

琉璃

和漢通名 璃品字箋ニ瑠ニ瑯ニ
佛書七寶之一也和産ナシ唐山ニテモ硝子ニテ
偽ルト云和ニテ青色ヲ琉璃色ト云ハ凡十種アリ
ト時珍ノ説ニアレハ青色ノミニアラズ

雲母

キラ、キラ

一名石鱗村家 雲母正字 浮雲滓石藥 雨華爾雅

飛英 雲梁石 明石 雲起 雄黑共ニ

紅毛ノ産上品透明ニ水精ノ如シ此ヲヘケバ

薄紙ノ如クニナル唐山朝鮮和産共ニアリ和ハ

下品ナリ續日本紀曰 元明天皇和銅六年令大

和三河陸奥并獻雲母今和州奈良ノ東南添上郡

椿尾村ト云處ニ雲母洞アリ入口甚狭クシテ内

ハ甚廣シ横ニ入ルヲ甚遠シ石皆白クノ五分或

ハ三分許ノ雲母處處ニツキテアリ是即和銅年

本草啓蒙 卷之四 四十一 根芳軒

中掘タル坑ナルカ今ハ取ラズ三河ノ筈郡吉良ノ庄又ハ吉良村トモ云ヨリ五色ヲ出ス其内白色者ヲ多ク出ス黑色ナル者ヲ方言シニキラハト云テ下品トス今上品ノ者ヲ銀葉ニ造リ下品ノ者ヲ細末ニシ扇面トカラカミニ用ユ美濃ニモ上品ノモノアリ三河ノ上品ノ者ニヒトシ江州田上山ニモ産ス三河者ニ劣ル天台山ニ雲母坂アリ昔ハ雲母アレ凡今ハ甚希ナリ此外諸州ニ多シ此物火ニ遇テ焼ケス

白石英

シロズイセウ 劍舍利 ケンサキノシヤリ攝州西宮

カザブクロ 佐州 山ノカミノタガ子 奥州

カブトスイセウ

一名廣石郷藥本 白砥亦白埴ニ作ル並ニ正字通

白素飛龍石藥爾雅 素玉女 銀華 水精共同上

本邦ニテ皆水精ト呼フ諸國ニ生ス舶來上品和産モ上品アリ皆六稜アリテ削リ成スカ如シ明徹ナルヲ良トスウルミタルモノ或ハ内ニヘダテアルハ下品ナリ五色アリ紅ト青トハ稀ナリ黄ト紫トハ少シ黒ト白トハ多シ佐州石州上品江州田上山鏡山三上山等ニ多ク有レ凡上品ハ少シ一床ニ五色雜リ生スル者甚少シ山城ノ愛

石山及檜原ノ山ニ生スル者ハ鮫水晶ト云短小
ナル水精多ク床上ニ集リ生シテ鮫魚皮ノ形ノ
如シ凡四方諸州ミナ石英アリ和州ノ大峯信州
ノ妙儀山ニハ黄色ニシテ大ナルヲ産ス又ハリ水
晶アリ黄色モアリ長サ一寸許甚細シテ多ク床
上ニ亂レ生ス江州大堀村相谷ノ奥ニ水精ガ嶽
アリ千本水精ヲ生ス長サ二三寸許濶ニ三分許
ナルモノ多ク亂レ生ス又出羽ノ東禰ニ水晶ノ
井ト呼フアリ自然ノ洞穴ニシテ中四面ニ水
晶生シ盈テ牡丹ノ花ノ如シ錢ヲ以テソノ中ニ
投ズレハ落ルヲ遅ク鳴ルヲ久シコレ井深ク花

ノ如キ水晶多クノ錢コレニ觸テ聲ヲナス也出羽
語ル人又石英ノ中空ニシテ水アルアリ是ヲ倒轉ス
レハ必水上ニ升ル是水下ニシテ平ニ沫升ルナリ
一滴ノ水ナレバ數十年乾カス玩石家コレヲ貴
ブ俗ニ水入りノ水晶ト呼ブ因樹屋書影ニ之ヲ
含水水精ト云フ又水精ズナハ羽州米澤觀音山
筑前御笠郡丹後ニ濱及諸州ニ産色白徹ナリ和
州南都ニハ砂中ニ雜リアリ城州稻荷山モ亦然
リ

紫石英

ムラサキスイセウ

内外俱ニ紫ニシテ透明ナルヲ貴フ外ノミ紫ナルハ下品トスソノ形ミナ六稜ナリ集解及ビ本經逢原ニ五稜ト云ハ皆誤リナリ白石英出ル國ニ皆アリ佐州石州ニ上品アリ江州奥州南部越州敦賀ニモ上品アリ兩頭尖ルヲ撰フベシ白石英黒石英ニモ此形アレドモ禹錫ノ説ニ兩頭如箭鏃ト云圖ニモ兩頭尖ル者ヲ畫ク故紫石英ニ於テ此形アルヲ撰フナリ又含水ノ紫石英アリ又舶來ノ紫石英古渡ハ至テ上品ニ大明徹ナリ今來ルモノハ綠色ト紫色ト相雜リ斑ニナリテオラサ石ノ如クニメ稜モ十ク透明ナラ

ザルモ雜レリ下品ナリ故ニ和産ヲ勝レリトス
集解 弘景曰青綿石ハ黑色ノ者ヲ云 環瑋ハ高壯也莊子天下篇ニ出
菩薩石

和産ナシ

今ハ渡ラス昔阿媽港ノ人持來テ人ヲタブラカセシヲアリト云日ニ映スレハ五色光明アリ是真ノ菩薩石ナリ又能州光濱ニ方言舍利ト云モノアリ津輕舍利トハ形狀異ニシテ大サ小棗ノ如ク微シク稜アリ色黄ニノ紅ヲラブ透ルヲ瑪瑙ノ如クニノ水晶ノ如ク明徹ナルニ非ス此亦

本草綱目啓蒙卷之四
四十三
泉源軒

本條ノ種類ナルヲシ又別ニ能州鳳至郡菩薩谷ニ方言菩薩イシト云モノアリ色白クノ堅キ石ノ中ニ大小雜リテ僧ノ法衣ヲ着シタル形ニ成リタル石アリ又江州伊吹山ニ長石ヲ産ス俚俗菩薩イシト呼フ是皆本條ノ菩薩石トハ別ナリ

本草綱目啓蒙卷之四終

